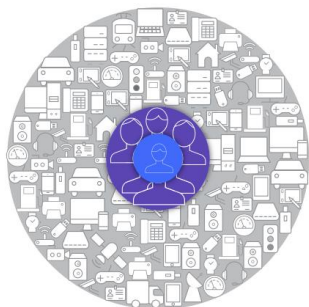


CIAM (Customer Identity and Access Management) とは



顧客を中心に重視する包括的ID&アクセス管理で、サービスやリソースを利用する顧客・消費者に、目的に応じた制御を提供するプラットフォームです。
 このため、従来のIAM (Workforce IAM) とは異なります。
 従来のIAMが内側に目を向けていたのに対し、B2CおよびB2Bのインタラクションに焦点を当てます。

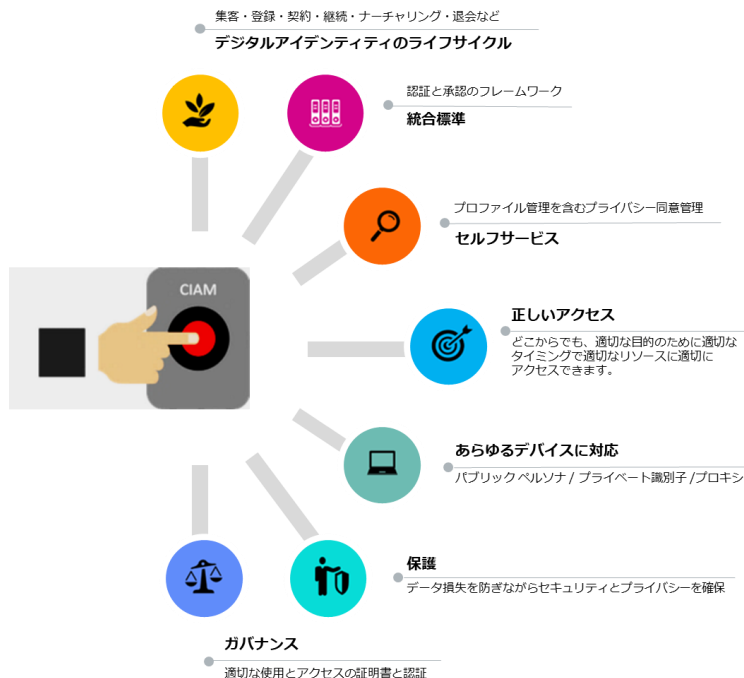
NetIQ CIAMは、多様なビジネスニーズに対応した幅広いソリューションで、DX (デジタルトランスフォーメーション) に向けたCIAMのニーズに応えます。
 この分野においては、10年以上にわたりCIAMへの取り組みを支援しており、政府による市民とのやり取りをサポートする実装、モバイルコンシューマー通信、さらにはケーブルテレビのセットトップボックスのようなInternet of Thingsに特化した実装も行っています。
 なお、NetIQでは、何億ものIDを含む実装を実証しています。

NetIQ CIAMの特長

NetIQ CIAMは、ID登録から抹消までのライフサイクル管理に始まり、ID認証と承認の統合標準、ユーザーが自身でプロフィール管理するセルフサービスなど、あらゆるデバイスに対応した、いつ、どこからでも適切なリソースにアクセスするユーザーエクスペリエンスを提供し、個人情報も保護します。

ビジネスがグローバル化されている昨今、システムにもグローバル化が要求され、さらに様々なプライバシー規制への準拠も必須です。

NetIQ CIAMは、目的に応じたプロアクティブなコントロールを可能とすることで、安全でパーソナライズされたエンドユーザーエクスペリエンスを提供しつつ、様々な規制への準拠を可能にし、CIAMに必要な機能を提供します。



プライバシーを重視したCIAM

	顧客ID管理	顧客情報の保護
ID管理	会員登録、プロビジョニング、プロフィール管理、顧客IDのパスワード管理	ID登録、プロビジョニング、プロフィール管理、顧客IDのパスワード管理
IDガバナンス	お客様は、自身のデータが当該目的に使用されることに同意しているか？	誰が顧客データを見ることができるか？ このアクセスに正当な目的があるか？
ID認証	お客様は、本当に本人か？	情報を扱う従業員は本当に本人か？
権限	お客様はどのようなことができるか？	従業員は顧客情報をどのように扱うべきか？

プライバシーを重視したCIAMを構築するためには、「ID管理」「IDガバナンス」「ID認証」「権限」の観点で、顧客ID管理や顧客情報保護の考慮が必要になります。
 これらへの対応により、プライバシーを最大限考慮したCIAM基盤構築が可能となります。

顧客・消費者を知り、お預かりしたデータを保護することでロイヤリティの最大化を実現

企業は、顧客・消費者の長期的なロイヤリティを最大化し、収益性を高める必要があります。
 それには、サービスとして利用でき、柔軟性があり、あらゆる環境下で展開できる、最新かつ将来性のあるCIAMプラットフォームの活用が必須となります。

お客様のロイヤリティとリテンションの向上	<ul style="list-style-type: none"> お客様のニーズを先取りした、より良いサービスの提供 顧客満足度の向上
市場に対する理解度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットを絞ったメッセージング トレンドや競合の分析に役立つ、より優れた分析機能
成長と収益へのチャンス	<ul style="list-style-type: none"> お客様が何を求めているかをより良く理解する 新たな投資先、成長分野の特定

顧客のロイヤリティと収益性を高めるチャンスは、企業による顧客データの責任ある収集と卓越した顧客のデジタル体験にかかっています。